

第10回

双葉郡

ふるさと創造学

サミット

セッション内容紹介

日時：2023年12月2日（土） 9:30～14:30

場所：福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

タイムテーブル

9:30～10:00	オープニングセレモニー ※ふたば生徒会連合による企画運営										
10:00～10:20	休憩・移動20分										
会場	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
	未来 アリーナ1	未来 アリーナ2	未来 アリーナ3	未来 アリーナ4	葛尾・富岡支援 協働学習 ルーム	富岡・未来 シアター	浪江・広野 選択教室 11・12	檜葉 多目的教室1	広野・双葉 多目的教室2	川内・大熊 多目的教室3	
ライブ配信	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
10:20～10:50	セッション①	ふたば 未来高	ふたば 未来中	ふたば 未来中	ふたば 未来中	葛尾小	富岡小	なみえ 創成小	檜葉中	広野小	川内小中 (後期)
10:50～11:10	休憩・移動20分										
11:10～11:40	セッション②	ふたば 未来中	ふたば 未来中	ふたば 未来中	ふたば 未来中	富岡支援	富岡中	なみえ 創成中	檜葉小	双葉 南・北小	川内小中 (前期)
11:40～12:30	昼食										
12:30～13:00	セッション③	ふたば 未来高	ふたば 未来中	ふたば 未来中	ふたば 未来中	葛尾中	富岡小	なみえ 創成小	檜葉中	双葉中	ゆめの森
13:00～13:20	休憩・移動20分										
13:20～13:50	セッション④	ふたば 未来中	ふたば 未来中	ふたば 未来中	ふたば 未来中	葛尾小	ふたば 未来高	広野中	檜葉小	広野小	川内小中 (後期)
13:50～14:10	移動・片付け20分										
14:10～14:30	クロージングセレモニー ※ふたば生徒会連合による企画運営										

※AおよびE～J会場のセッションをライブ配信（事前申込制）

主催：福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会

共催：双葉地区教育長会、双葉郡小学校長会、双葉郡中学校長会、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

企画運営：ふるさと創造学サミット実行委員会

会場	学校名(学年)	内容
A	福島県立 ふたば 未来学園 高等学校 (3年)	 <p>私と檜葉とさつまいも 私が解決したい課題は檜葉町の特産品が少ない事と風評被害についてです。特産品を作るという課題を解決するために地元のさつまいもを使ったお菓子をつくってPRしたいと考えました。地元企業の「復興プロジェクト」を知り参加することになりました。そこで、さつまいもを使ったパンの製作を考えました。</p>
B	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>馬と共に生きる 皆様は引退馬をご存じでしょうか。今、引退馬は注目を集めつつあります。なぜならとある大きな問題を抱えているからです。私の探求はこの問題を完全に解決したいというわけではありません。これから引退馬はどうなるべきか、そもそも問題視するべきか。発表を通して考えていただけたらと思います！</p>
C	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>川内のブドウで世界を染めよう 私たちは、川内村で作られたワインブドウを使って染物をするという探究を行っています。震災で大きく悪影響を受けた川内村を、ワインとして使用できないブドウを使った染物で元気づけるという目的で活動してきました。これまでに、学校で染物体験会を開いたり、探究発表会を通して探究の成果を発表したりするという活動を行ってきました。</p>
D	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>そうだ富岡、行くべ 私たちは富岡町の関係人口を増やすために不特定多数の方々に知ってもらいやすい動画投稿をしました。当日には富岡町のこと、みんなが知らない新しい富岡町などについて発表します。私たちの対話のテーマは「富岡町に人を呼び込むのは本当に良いことなのか？」です。</p>
E	葛尾村立 葛尾 小学校 (5・6年)	 <p>復興の力になれる方法を探れ！葛尾村のために！ 今年度は、葛尾村の復興について考えてきました。そんな中、村おこしを行っている方や、役場で働いている方にお話を聞いて学んだことを発表します。みなさんとは、葛尾村の復興や、みなさんが住んでいる町のよさについてディスカッションしたいと思いますので、よろしくお願いします！</p>
F	富岡町立 富岡 小学校 (6年)	 <p>とみおか小学校 みんなで作ろう おもいでのご郷に かがやく未来を 私たちの富岡町を盛り上げるためには、皆さんと私たちがいろいろな仕事をさらに盛り上げていくことが大切だと考えました。サミットでは、「現在ある仕事」「必要だと思う仕事」「自分がやってみたい仕事」について発表します。皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。</p>
G	浪江町立 なみえ創成 小学校 (5・6年)	 <p>今私たちにできること～浪江町の未来について考えよう～ みなさんは、水素のよさを知っていますか。水素は、二酸化炭素を排出しないエネルギーです。水素は、電池のように貯めて使えます。そして水素は、水と太陽光からできる環境に優しいエネルギーなのです。そんな水素エネルギーを活用した浪江町・双葉郡の未来について、一緒に考えてみませんか。</p>
H	檜葉町立 檜葉 中学校 (1～3年)	 <p>模擬会社Nalysゆずスマイル檜葉～檜葉の魅力を全国へ～ 本校では、檜葉町民や全国の人が檜葉の良さを知り笑顔になってもらうことを実現するために、檜葉町の特産品を使った魅力的な商品の制作やSNSを活用した情報発信、地域の魅力を発信するカードづくりを各製造部に分かれて行いました。当日は、実際に考察した商品にこめた想いや魅力について説明したいと思います。また、参加者の方々からの積極的な質問をお待ちしています。</p>
I	広野町立 広野 小学校 (6年)	 <p>－これでいいの？これでいいのだ！広野町－ 広野町の今を、ホームページや広報誌、家族へのインタビューを通して把握し、自分たちができることは何かを考えました。少子高齢化、人口の流出・減少、ごみの増加について個人・グループで調べ、解決策を提案したいと思います。 乞うご期待！</p>
J	川内村立 川内 小中学園 後期課程① (7・8年)	 <p>川内村から考える震災復興と私たち 私たちは、双葉町にある東日本大震災・原子力災害資料館へ行き、双葉郡の震災・復興について学びました。また、福島県以外の震災・復興について学ぶため、宮城県気仙沼市へ行き、震災遺構の向洋高校や防潮堤を見学してきました。県内外でのフィールドワークから学んだことを発表します。</p>

会場	学校名(学年)	内容
A	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>鉄を追え 浜通り地方は6から7世紀ごろたたら製鉄が盛んだった。私たちは広野町の箒平にて製鉄の遺構を見つけたら製鉄の探究を始めた。文献調査やインターネット調査などを行うなかで、私自身でたたら製鉄を行いたいと考え2回にわたりたたら製鉄を行っている。小学生も幼稚園生にもわかるように発表します。</p>
B	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>Imagine Future Energy 双葉郡が再生可能エネルギー発電(主に水素製造、太陽光発電、風力発電)の発電地として地形的、環境的な面からみて適していることが分かった。双葉郡の再エネを発信し、原発の風評被害を削減、双葉郡の再エネを新たな魅力として感じてもらうことを目的とし、今まで活動してきた。</p>
C	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>ある丘にある、あるみかん。 広野のみかんを各地の人に知ってもらうため、広野みかんのPRをする。広野みかんをPRするための手段として、広野みかんを使用したスイーツを作成し、販売する。販売する際にはマルトさんに協力していただき、販売していただく。ポスターも作成し、駅などに掲示。</p>
D	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>人がいなくても生きる集落 みなさんは過疎集落や限界集落という言葉をご存じですか？私たちはこれらの言葉に近い箒平という集落を探究しています。当日は箒平とはどんな所なのか、私たちが見つけた箒平の魅力などをお伝えします。また、対話のテーマは「過疎集落は誰がどのように残していくべきか」です。</p>
E	福島県立 富岡 支援学校 (中学部2・3年、 高等部2年)	 <p>「私たちの今、富岡支援学校」 令和6年度より学校名が変わり、校舎の場所が変わり、12年振りに双葉郡へ学校が戻ることになりました。来年度、新たなスタートを切る富岡支援学校の現在を紹介します。</p>
F	富岡町立 富岡 中学校 (全学年)	 <p>富岡町をよりよくするために～富岡中生からの提言～ 4つの班から、私たちが考えた富岡町の課題とその改善に向けた提言を発表します。対話では、私たちの提言をよりよいものにするために、会場のみなさんと意見交流をします。また各町村の課題を出し合い、富岡町だけでなく双葉郡全体が元気になるような話し合いにしたいです。</p>
G	浪江町立 なみえ創成 中学校 (3年)	 <p>ニュースポーツを体験して、交流を深めよう！ 3年生は「なみえにいかそう」というテーマで総合的な学習の時間を進めてきました。1学期は東京で浪江町のPR活動を行い、2学期はニュースポーツ交流会を開催して、地域交流していきました。今日は実際にニュースポーツを体験して、地域交流について一緒に考えませんか？</p>
H	檜葉町立 檜葉 小学校 (6年)	 <p>議会での提案を実現へ！～広げよう！ふるさと檜葉での地産地消～ 今年度も檜葉町では、社会の一員として地域や社会の将来について考える「子ども議会」を開催しました。そこで課題の一つとして挙げられた“地産地消”をさらに進めていくために、檜葉町の特産品であるゆずを使用した料理のPR動画を撮影・編集しました。当日はその様子について、発表します。</p>
I	双葉町立 双葉南・ 双葉北 小学校 (5・6年)	 <p>20年後の双葉を考える 双葉町では、復興に向け、企業立地・事業再開が進んでいます。セッションでは、5・6年生が操業を開始した企業を見学して学んだことを双葉町の現状とともに発表します。対話では、20年後の双葉町が活気ある町へと復興を遂げるために必要なものは何かをみなさんと一緒に考え、未来の双葉町を構想します。</p>
J	川内村立 川内 小中学園 前期課程 (6年)	 <p>川内村の一員として 村で行われているイベントの企画・運営をしたり、村の特産品やグッズを販売したりしている事業所を訪れ、村を盛り上げるための取組みについて調査しました。事業所を回る中で「ぜひ企画やグッズを考えてほしい」とのお話があり、私たちに考えてみたことを発表します。対話では、自分たちが住んでいるところをさらに盛り上げていくためにはどのようなイベントやグッズがあるとよいか話し合いたいです。</p>

会場	学校名(学年)	内容
A	福島県立 ふたば 未来学園 高等学校 (3年)	 <p>自律神経を整える 子どもの自律神経を整えるために有効な「ピーマン」に注目しました。しかし、ピーマンは子どもが苦手な食材の代表格です。自律神経を整えるピーマンを使って、子どもが食べやすい料理を探究しました。自律神経失調症の子どもが増えているので、ピーマンで少しでも自律神経失調症が減少してくれればいいと思った。</p>
B	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>馬と共に生きる 皆様は引退馬をご存じでしょうか。今、引退馬は注目を集めつつあります。なぜならとある大きな問題を抱えているからです。私の探求はこの問題を完全に解決したいというわけではありません。これから引退馬はどうなるべきか、そもそも問題視するべきか。発表を通して考えていただけたらと思います！</p>
C	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>川内のブドウで世界を染めよう 私たちは、川内村で作られたワインブドウを使って染物をするという探究を行っています。震災で大きく悪影響を受けた川内村を、ワインとして使用できないブドウを使った染物で元氣するという目的で活動してきました。これまでに、学校で染物体験会を開いたり、探究発表会を通して探究の成果を発表したりするという活動を行ってきました。</p>
D	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>そうだ富岡、行くべ 私たちは富岡町の関係人口を増やすために不特定多数の方々に知ってもらいやすい動画投稿をしました。当日には富岡町のこと、みんなが知らない新しい富岡町などについて発表します。私たちの対話のテーマは「富岡町に人を呼び込むのは本当に良いことなのか?」です。</p>
E	葛尾村立 葛尾 中学校 (1~3年)	 <p>葛尾防災ステーション ~災害時について~ 地震や津波、台風、豪雨、土砂崩れ、大雪、火山の噴火など、災害は私達の周りです。いつ起きるか分かりません。万が一の事態に備えて、私達は何を考えなければいけないでしょうか。地域をどう守ってあげればいいでしょうか。防災に関するアイデアを出し合い、地域の未来を考えます。</p>
F	富岡町立 富岡 小学校 (5年)	 <p>とみおか小学校 みんなで作ろう おもいでのご郷に かがやく未来を 私たちの私たちは、富岡町を盛り上げたいという思いで活動しています。富岡にはどんな人がいたのだろうか。どんなことがあったのだろうか。インタビューや調査を行ったくさんのことを調べました。サミット当日は、分かったことをみなさんに発表します。楽しみにしてください。</p>
G	浪江町立 なみえ創成 小学校 (5・6年)	 <p>今私たちにできること~浪江町の未来について考えよう~ みなさんは、水素のよさを知っていますか。水素は、二酸化炭素を排出しないエネルギーです。水素は、電池のように貯めて使えます。そして水素は、水と太陽光からできる環境に優しいエネルギーなのです。そんな水素エネルギーを活用した浪江町・双葉郡の未来について、一緒に考えてみませんか。</p>
H	檜葉町立 檜葉 中学校 (1~3年)	 <p>模擬会社Nalysゆずスマイル檜葉~檜葉の魅力为全国へ~ 本校では、檜葉町民や全国の人が檜葉の良さを知り笑顔になってもらうことを実現するために、檜葉町の特産品を使った魅力的な商品の制作やSNSを活用した情報発信、地域の魅力を発信するカードづくりを各製造部に分かれて行いました。当日は、実際に考察した商品にこめた想いや魅力について説明したいと思います。また、参加者の方々からの積極的な質問をお待ちしています。</p>
I	双葉町立 双葉 中学校 (1~3年)	 <p>再興を目指す双葉町 双葉町に関連する事業所にて職場体験を実施し、再興に向けた取り組みや想いなどを伺い、仕事を体験しました。それらの想いや私たちの感じたことを伝えます。対話では、私たちが町再興に向けできることは何かを話し合い、学生でも再興に携わることのできる方法をともに考えましょう。</p>
J	大熊町立 学び舎 ゆめの森 (1~9年)	 <p>地域との出会いと探究を通じた新しい大熊の物語の創造 12年にわたる会津での学びを終え、この春、私たちは大熊町に帰還しました。それからというもの私たちは、大熊の地をたくさん歩き、大熊の人とたくさん話し、大熊の豊かさたくさん出会い、様々なことを学びました。本日は、双葉郡のみなさんと交流できることを楽しみにしています。</p>

会場	学校名(学年)	内容
A	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>Imagine Future Energy 双葉郡が再生可能エネルギー発電(主に水素製造、太陽光発電、風力発電)の発電地として地形的、環境的な面からみて適していることが分かった。双葉郡の再エネを発信し、原発の風評被害を削減、双葉郡の再エネを新たな魅力として感じてもらうことを目的とし、今まで活動してきた。</p>
B	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>鉄を追い 浜通り地方は6から7世紀ごろたたら製鉄が盛んだった。私たちは広野町の箒平にて製鉄の遺構を見つけたたら製鉄の探究を始めた。文献調査やインターネット調査などを行うなかで、私自身でたたら製鉄を行いたいと考え2回にわたりたたら製鉄を行っている。小学生も幼稚園生にもわかるように発表します。</p>
C	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>ある丘にある、あるみかん。 広野のみかんを各地の人知ってもらうため、広野みかんのPRをする。広野みかんをPRするための手段として、広野みかんを使用したスイーツを作成し、販売する。販売する際にはマルトさんに協力していただき、販売していただく。ポスターも作成し、駅などに掲示。</p>
D	福島県立 ふたば 未来学園 中学校 (3年)	 <p>人がいなくても生きる集落 みなさんは過疎集落や限界集落という言葉はご存じですか？私たちはこれらの言葉に近い箒平という集落を探究しています。当日は箒平とはどんな所なのか、私たちが見つけた箒平の魅力などをお伝えします。 また、対話のテーマは「過疎集落は誰がどのように残していくべきか」です。</p>
E	葛尾村立 葛尾 小学校 (5・6年)	 <p>復興の力になれる方法を探れ！葛尾村のために！ 今年度は、葛尾村の復興について考えてきました。そんな中、村おこしを行っている方や、役場で働いている方にお話を聞いて学んだことを発表します。みなさんとは、葛尾村の復興や、みなさんが住んでいる町のよさについてディスカッションしたいと思いますので、よろしくお願いします！</p>
F	福島県立 ふたば 未来学園 高等学校 (3年)	 <p>福島の水 探究テーマは福島の水の安全性を広めるためには？です。福島の水は買いたくない、放射線量が高いものなんて食べたくないといった風評被害が多いですが、地域、社会のあるべき姿として、やはり風評被害の無い福島県にしたいと思っています。色々な地域から応援されるような福島県になって欲しいです。</p>
G	広野町立 広野 中学校 (1~3年)	 <p>ひろのチャンネル ひろのチャンネルでは、1年「地域を知る」、2年「地域の魅力を発信する」、3年「地域の未来を創る」というテーマの内容をお送りします。 対話のテーマは、「皆さんの考える魅力ある地域とは？」です。</p>
H	檜葉町立 檜葉 小学校 (6年)	 <p>議会での提案を実現へ！～広げよう！ふるさと檜葉での地産地消～ 今年度も檜葉町では、社会の一員として地域や社会の将来について考える「子ども議会」を開催しました。そこで課題の一つとして挙げられた“地産地消”をさらに進めていくために、檜葉町の特産品であるゆずを使用した料理のPR動画を撮影・編集しました。当日はその様子について、発表します。</p>
I	広野町立 広野 小学校 (6年)	 <p>～これでいいの？これでいいのだ！広野町～ 広野町の今を、ホームページや広報誌、家族へのインタビューを通して把握し、自分たちができることは何かを考えました。少子高齢化、人口の流出・減少、ごみの増加について個人・グループで調べ、解決策を提案したいと思います。 乞うご期待！</p>
J	川内村立 川内 小中学園 後期課程 (7・8年)	 <p>川内村の仕事から考える私たちのキャリア 私たちは、9月に職場体験を行い、川内村にある仕事や、川内村で働く人の姿や生き方について学んできました。川内村には様々な事業所があり、各事業所が村の復興のため、村民一人一人のために働いていることがわかりました。この経験から学んだことや、自分のキャリアや生き方について考えたことを発表します。</p>